担当医/指導医	/
目的	□ 積極的治療 □ 症状緩和 □ 術前補助 □ 術後補助
告知程度	□全告知 □部分告知 □未告知
告知内容	□ 癌(原発 ・ 再発 ・ 進行) □ 抗癌剤を使用する
服薬指導	□ 依頼する 看護師( ) 薬剤師( )

身長: cm 体重: Kg			
体表面積 m^2		HBV感染スクリーニング	□ 確認済み

非小細胞肺癌 カルボプラチン+アブラキサン+キイトルーダ療法 1コース 3週間

投与開始日 年 月 日 コース予定

● キイトルーダ 200mg/body Day 1 投与量: 200 mg
(一般名:ペムブロリズマブ、 商品名:キイトルーダ)

● アブラキサン 100mg/m^2 Day 1, 8, 15 計算量: mg 投与量: mg
(nab-PTX:一般名パクリタキセルアルブミン懸濁型、商品名アブラキサン)

● カルボプラチン AUC=6 Day 1 計算量: mg 投与量: mg
(CBDCA:一般名カルボプラチン、商品名カルボプラチン)

【投与スケジュール】

Day1	1) 生食 50mL	1V			
	2) 生食 100mL キイトルーダ (200)mg	1V			30分
	3) 生食 50mL	1V			2)のルートフラッシュ
	4) パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg/50mL デキサート 1.65mg	1V 6A			15分
	5) 生食 50mL ( )mL アブラキサン ( )mg		←アブラキサンの濃度が5mg/mLになるように生食の量を調節	液量はアブラキサンの投与量により異なる為速度調節注意!	30分
	6) 生食 50mL	1V			5)のルートフラッシュ
	7) 5%ブドウ糖液 250mL カルボプラチン ( )mg	1V			60分
	8) 生食 50mL	1V			ルートフラッシュ

【Day2, 3の内服薬】※症状に応じて省略可

Day2, 3	デカドロン(4mg)	2錠	分2 朝・昼食後		2日間

Day8, 15	1) 生食 50mL デキサート 1.65mg	1V 2A			15分
	2) 生食 50mL ( )mL アブラキサン ( )mg		←アブラキサンの濃度が5mg/mLになるように生食の量を調節	液量はアブラキサンの投与量により異なる為速度調節注意!	30分
	3) 生食 50mL	1V			ルートフラッシュ

★ キイトルーダは、0.2~5μmのインラインフィルター付きの点滴セットを使用すること。

◆ アブラキサンは、投与時インラインフィルターを使用しないこと。

◆ アブラキサンは、特定生物由来製品(血漿分画製剤)使用に関する説明と同意が必要なため、化学療法・同意書(アブラキサンを含む治療)を使用すること。